



ゆるりとした特別な時間を味わってほしい

Interview

とくと・豊島

濱中 玲子さん アランさん ご夫婦



築 80 年の古民家を歴史ごとと民宿に。ご夫婦の熱意で開業が実現したと話す濱中さん。そのご苦労や開業後のエピソード、これからの夢などについてお聞きしました。

現在、農林漁家民宿をどのような形で営業されていますか？

うちは第2次大戦中に建てられたという築80年の古民家を改修した民宿で、令和3年（2021年）夏に開業しました。宿名の由来でもある「豊島でのゆるりとした時間をここで“とくと”味わって、お寛ぎください」という思いをコンセプトに、建物にもサービスにもその思いを込めて運営しています。

庭石と白砂、植木で描いた枯山水の庭を挟んで「母屋の本館」と「離れの別館」の2棟の建物があり、現在はコロナ感染症対策で各建物に1組ずつのお客様にお泊り頂いています。料金はいずれも朝食付税込で、本館が室料35,000円+お1人5,000円、別館が室料25,000円+お1人5,000円です。

夕食はお客様のご要望にマッチする豊島のお食事処をご紹介し、私どもが送迎していますが自炊も可能です。その際は、宿の畑で育てた野菜も収穫して頂けます。そして、時と喧噪を忘れる生活を、是非楽しんでいただきたいです。だから、建物には時計やテレビを置いてないんですよ。



古風とシンプルモダンが共鳴する部屋

なぜ農林漁家民宿をはじめようと思ったのでしょうか？



最初に心奪われたという鬼瓦の七福神

「ここに漂う風情と歴史」に触れたこと、そして「この場所が手に入る」と知ったことが全ての始まりかも知れませんね。特に本館の屋根に鎮座する鬼瓦の七福神、窓を彩るアンティークガラスが素敵で、「ここを民宿に」の思いが強くなりました。家族は反対というより朽ちかけの建物を見て「本当にできるの」という感じでしたが、私の熱意に押されて次第に賛成してくれました。でも、開業までは本当に遠い道のりでした。というのも、私は豊島生まれではありますが、当時オーストラリアに住んでいて、仕事も結婚も向こうでしていたので構想から実現までには4年という月日が必要でした。

開業するための経費について教えてください

正直、費用は結構掛かりましたね。屋内に草が生えるほど荒れた建物と庭の改修は、どうしても専門の工務店でなければできなかったんです。しかし、そこは“時短”と考えてプロにお願いし、それ以降は経費節減のために私と主人でできる限りの準備をみっちり3ヵ月間程頑張りました（笑）。

壁の漆喰、柱などの補修をはじめ、調度品の制作、庭の整備はオーストラリア人の主人が工夫を重ねて手掛けたものです。ですから、ある意味ここは主人の作品でもあるんです。

コロナ禍の影響で、生活を日本かオーストラリアのいずれかに決めなくてはいけないとき、日本語も話せず、ビジネスマンであった彼が「一緒に夢を叶えよう」と決断してくれたからこそできた宿。そう考えればここは“プライスレスな場所”だと思えるんですね。



ご夫婦にとってここはプライスレスな場所

旅館業法等の開業手続きは、ご面倒ではなかったですか？

私の親や親戚、知人をはじめ、豊島では「農林漁家民宿」をされている人が多くいらっしゃるんですよ。そんな環境でしたので、始める手順や運営ノウハウなどについても、どうすれば良いかある程度わかっていました。だから大きな不安はありませんでした。開業のための申請などについても、香川県農村整備課の方が手厚くサポートをしてくださったお陰で、ハードルの高さを感じることなく本当にスムーズに進められたと思います。

農林漁家民宿を開業して良かったことは何ですか？

オープン前から準備中、そしてオープン時もコロナ禍の状況が続いていたので、お客様をお出迎えられるようになって「人とのふれあいて、楽しいな」と心から愛する豊島に触れて「素敵なお店ですね、また来ます」「本当にのびりできました」など、喜びに満ちた言葉を直接頂けることが嬉しいです。お客様と過ごす時間と空間、何でもない会話までもがとても大切に思える。このひとときは私と主人にとって何よりの宝物です。



この風景と“豊島時間”は心のご馳走



宿泊者とのエピソードで心に残ったことがあれば教えてください



「改修も、できることは全て2人で」とご夫妻

あるお客様が「ここに泊まるために、この島にきました」と言ってくれました。島自慢の美術館でもなく、島巡りでもなく、この宿を訪れることを目的にしていただけ。そのお客様との交流は、とても心に残っています。

宿のホームページを見てお越しになった方で、「期待していた以上に素敵な宿でした」とまで言ってくださって、これからはこの宿を大切に頑張っていこうという気持ちが一層強くなりました。

農林漁家民宿の魅力は何ですか？

民宿を開業する際、私はただ泊まる場所を提供するのではなく、豊島の素晴らしさを人に伝えたいという気持ちが強かったんです。島の山や海の風景、美味しい食べ物、穏やかな里と人を味わってもらうためには「農林漁家民宿」という形態がとても適していると思います。というのも、一般のホテル等と違って旅館業法などの法律の垣根が少し低いので、港の送迎の対応をはじめ、例えば「夕陽が見たい」とか「畑で野菜収穫したい」みたいな、お客様のご要望に柔軟に対応できるんです。

また、コロナ禍の影響でまだ実現していませんが、お客様と一緒にご飯を作る「共同調理」が可能な点も特徴です。このように多くのお客様と共にできるのも魅力だと思います。



裏庭の自家菜園。野菜の収穫体験も



今後の目標を教えてください

島にはお料理名人や名物漁師など、ユニークなおばちゃん、おじちゃんたちがたくさんいますので、そんな人たちを交えた体験メニューを多彩にご用意して、お客様をお迎えしたいなと思っています。

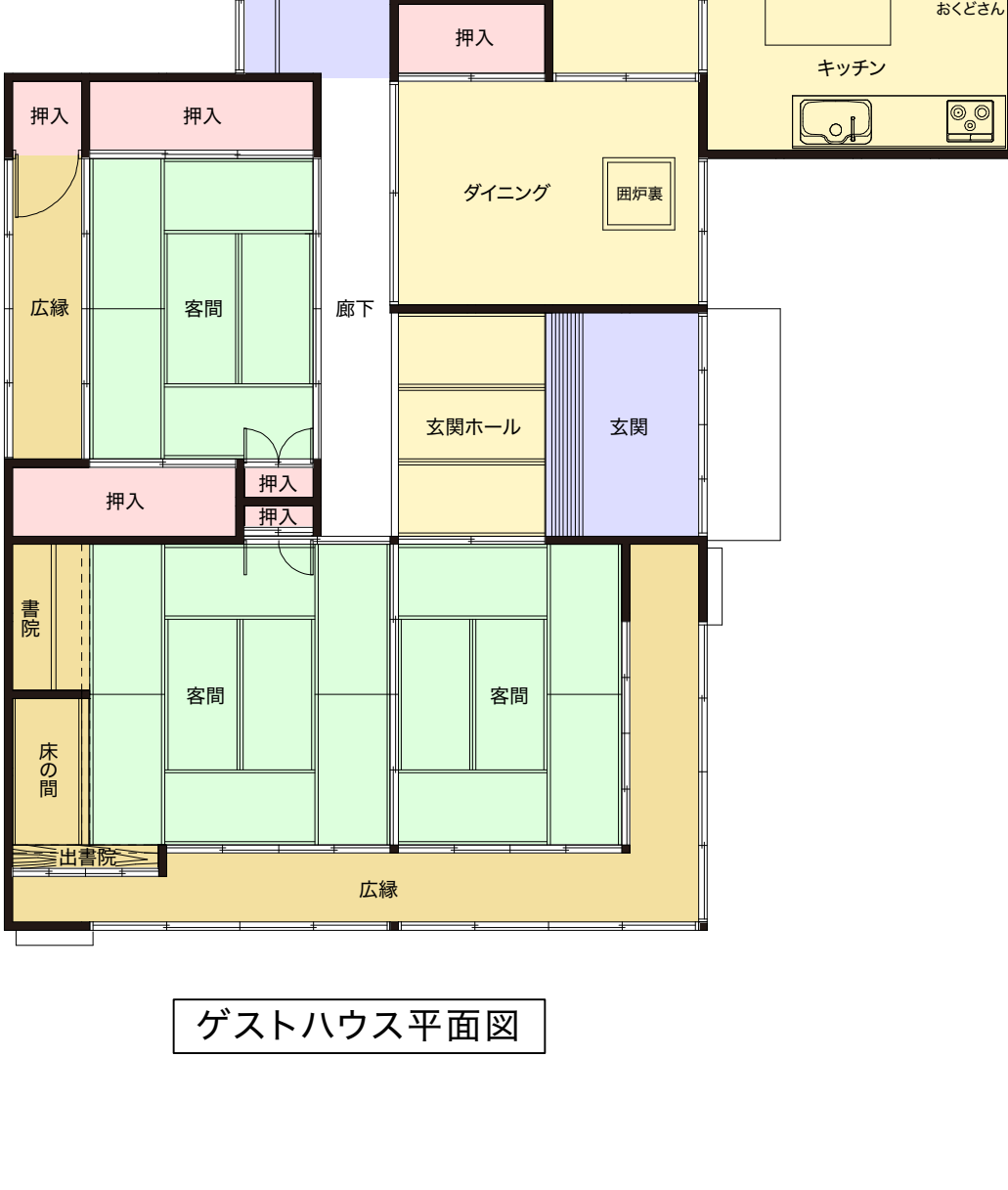
さらには、エリア全体のお客様のおもてなしをする「地域分散型宿泊施設」を、いつか叶えられるといいなと夢んでいます。具体的にいうと、島の郷土料理をうちでおこない、食事はお料理名人のおばちゃんや、この島に私たちがの街全体でお客様の要望に応えるカタチです。

これが実現すれば私たちの宿だけでなく、豊島全体の活性化が見込めますし、何よりお客様を含めみんなが元気になれると思うんですよ。このプランなら今は休業中のインバウンドニーズにも対応できると考えるので、瀬戸内の美しさ、楽しさを世界に発信できるんじゃないかとワクワクしています。夢は尽きません（笑）。

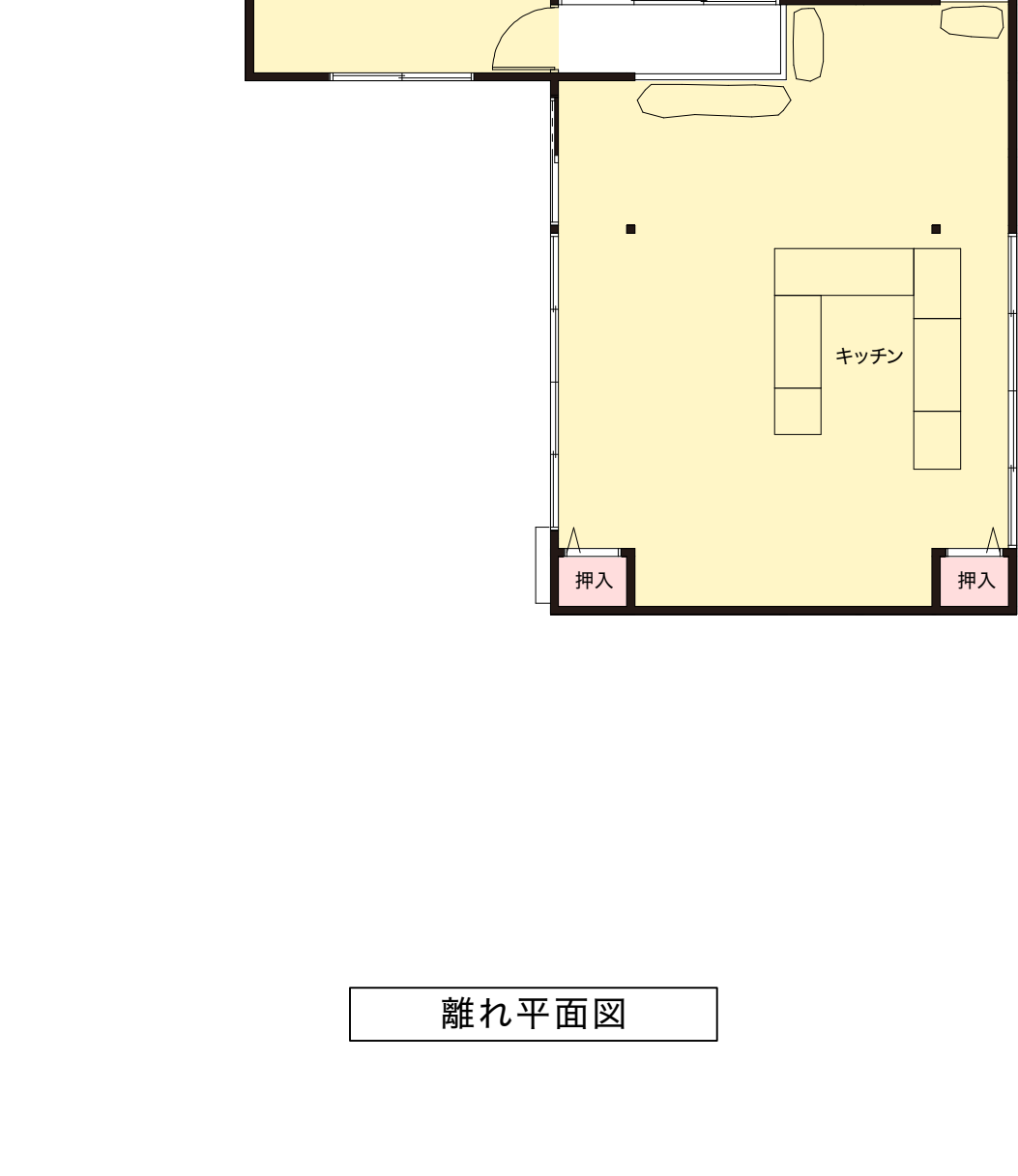


豊島の素晴らしさを「世界に伝えたいです」

とくと・豊島 間取り図



ゲストハウス平面図



離れ平面図

とくと・豊島 基本情報

住所	香川県小豆郡土庄町豊島家浦 1577-2 家浦港より徒歩 15 分（港まで送迎可）
電話番号	080-8161-3526
活用した建物	古民家
営業期間	通年不定休（要予約）
宿泊スタイル	1 棟貸し × 2
体験メニュー	野菜収穫体験・建網（たてあみ） 漁体験・ヤギの餌やり等
食事	軽朝食付（和朝食・昼食・夕食は応相談）
宿泊料	●本館 / 室料 35,000 円 + お 1 人につき 5,000 円 ●別館 / 室料 25,000 円 + お 1 人につき 5,000 円
ホームページ	https://linktr.ee/Tokuto